

### ドキュメントアクション

ドキュメント アクション

コネクタ

線	矢印
カギ線	カギ線矢印

接続可能な図形

スタートポイント	エンドポイント
アクティビティ	システムアクティビティ
オブジェクト(書類等)	フローの分岐
サブアクティビティ	

接続不可能な図形

付加情報	補足説明
同期	



テキスト

図形内文字設定ボックス

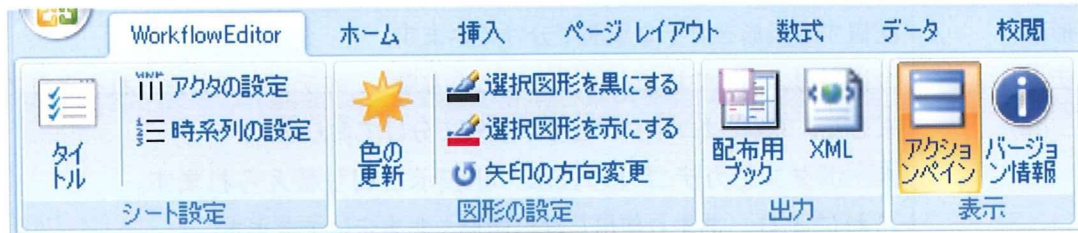
- アクティビティ
- システムアクティビティ
- 付加情報
- 補足説明
- オブジェクト(書類等)
- サブアクティビティ

テキストマスターの内容

マスター更新

名前	機能
図形の カテゴリ	<p>配置する図形をカテゴリ別で分けています。</p> <p>今後図形の種別や機能が増えることを考慮し、カテゴリで分けられるようにしました。(現状はコネクタとそれ以外で分けております)</p> <p>  ボタンでカテゴリの表示・非表示を切り替えられます。</p> <p>これにより、あまり使用しない図形を非表示にできます。</p> <p>(今後図形が増えた場合、カテゴリの追加・削除とカテゴリにどの図形を入れるかをユーザーごとに設定できるようにする事も可能です)</p>
図形配置 パネル	<p>シート上へドラッグする事により、図形を配置します。</p> <p>パネル上にカーソルを置くと「概要説明ボックス」に図形の簡単な説明が表示され、カーソル位置にツールチップが表示されます。</p> <p>また、ドラッグ中に右クリックするか、ESC キーを押しますとドラッグをキャンセルします。</p>
図形内文字 設定ボックス	<p>図形をドラッグした際に、図形内に自動で表示されるテキストを入力します。</p> <p>同期バーと各コネクタには文字は入りません。</p>
テキストマス ターの内容	<p>テキストマスターシートから取得した内容を表示します。ノードをクリックすると図形内文字設定ボックスの内容が更新されます。</p>
マスター更新	<p>テキストマスターシートの内容からテキストマスターの内容ツリーを更新します。</p>

## WorkflowEditor リボン



名前	機能
タイトル	シート情報を入力します。 シート情報の入力フォームを表示します。
アクタの設定	アクタの設定を行います。 アクタの設定フォームを表示します。
時系列の設定	時系列の設定を行います。 時系列の設定フォームを表示します。
色の更新	レーンをまたいで移動した図形の色を赤くします。 ワークフローの図形のみ色が変わります。
選択図形を黒にする	現在選択中の図形の色を黒くします。 ワークフローの図形のみ色が変わります。
選択図形を赤にする	現在選択中の図形の色を赤くします。 ワークフローの図形のみ色が変わります。
矢印の方向変更	選択しているコネクタの矢印の向きを変更します。
配布用ブック	本ツールがないユーザー向けの配布用ブックファイルを保存します。 このブックでは本ツールは動作しないようになっております。
XML	図形やパーティションの内容を記述した XML を書き出します。 Excel2003 版と同じスキーマの XML となっております。
アクションペイン	アクションペインの表示・非表示を切り替えます。 これは OnOff を切り替えるトグルボタンとなっております。
バージョン情報	本モジュールのバージョン情報を表示します。

## シート情報の入力

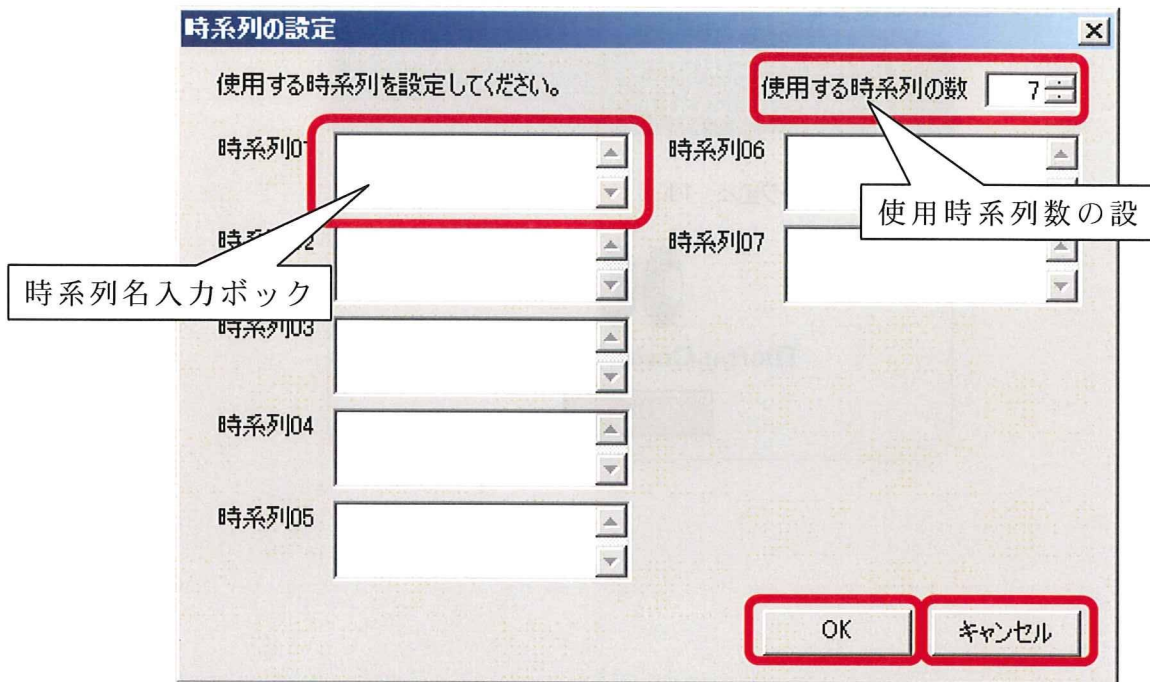
名前	機能												
シート情報 入力ボックス	業務名、スコープ、ポリシーを入力します。												
OK ボタン	<p>入力した内容が下図のようにシートに入力されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>業務名(目的等)</td> <td>入力内容</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>スコープ(業務範囲等)</td> <td>入力内容</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポリシー</td> <td>入力内容</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、シート名が業務名に入力した内容に変わります。 ただし同名のシートが既に存在していた場合は以下の警告メッセージが表示され、シート名は変更されません。</p>		A	B	1	業務名(目的等)	入力内容	2	スコープ(業務範囲等)	入力内容	3	ポリシー	入力内容
	A	B											
1	業務名(目的等)	入力内容											
2	スコープ(業務範囲等)	入力内容											
3	ポリシー	入力内容											
キャンセル ボタン	シート情報の入力フォームを閉じます。												



## アクタの設定

名前	機能
アクタ名 入力ボックス	アクタの名前を入力します。(複数行の入力も可能です。) 使用するアクタの数だけボックスが表示されます。 現状ではフォームを開いた時に、既存のアクタ名は表示されません。
使用アクタ数 の設定	使用するアクタの数を指定します。 ここで設定した数だけアクタ名入力ボックスが表示されます。 最大で 10 までとなっております。
OK ボタン	入力したアクタの数だけシート上にアクタパーティションが作成されます。 緑の線で区切られ、アクタ名が上部に表示されます。 アクタを増やしたり減らしたり、アクタ名を変更する事も可能です。
キャンセル ボタン	アクタの設定フォームを閉じます。

## 時系列の設定



名前	機能
時系列名 入力ボックス	時系列の名前を入力します。(複数行の入力も可能です。) 使用する時系列の数だけボックスが表示されます。 現状ではフォームを開いた時に、既存の時系列名は表示されません。
使用時系列数 の設定	使用する時系列の数を指定します。 ここで設定した数だけ時系列名入力ボックスが表示されます。 最大で 10 までとなっております。
OK ボタン	入力した時系列の数だけシート上に時系列パーティションが作成されます。 緑の線で区切られ、時系列名が左側に表示されます。 時系列を増やしたり減らしたり、時系列名を変更する事も可能です。
キャンセル ボタン	時系列の設定フォームを閉じます。

## バージョン情報

本ツールのバージョンを表示します。



## テキストマスターシート

各アクティビティに入力されるテキストをテキストマスターシートから取得するようにします。テキストマスターシートは以下のようになっております。

	A	B	C	D
1	項目名	内容(オブジェクトに記載するテキスト)	補足説明	
2	患者への指示	動作1	AAのときはこれで表現すること	
3		動作2	BBのときはこれで表現すること	
4		動作3	CCがあるときは選択しないこと	
5		看護師だけの動作	動作1	
6		動作2		
7		動作3		
8	.	.		
9	.	.		
10	.	.		
11				

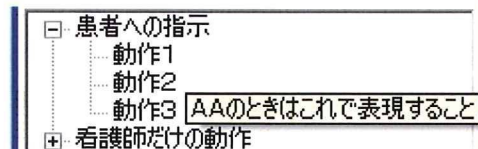
ツリービューのトップノードはテキストマスターシートの見出し(1列目)となります。

ツリービューの見出し以外のノードをクリックすると上部テキストボックスにマスターから取得したテキストが自動で入力されます。この状態でアクティビティをドラッグするとアクティビティにテキストが入力される状態になります。

マスター更新ボタンでテキストマスターシートの内容からツリービューの内容を更新します。

テキストボックスは変更可能ですので、マスターにはないテキストも設定可能となります。

また、補足説明列は、ツリービューのノードのツールチップとして使用されます。





## XML について

本ツールで作成したワークフローを XML 形式で出力できます。

これは今後他文書間との比較・分析を行うのに使用する予定です。

Excel2003 版ではブックファイルと XML ファイルは別々になってしまいましたが、Excel2007 版では CustomXML として、ブックファイル内に XML ファイルを格納できます。

以下は XML のサンプルです。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" standalone="yes" ?>
<Workflow ModuleVer="1.1" ExcelVer="2007">
  <SheetInfo name="業務名">
    <WorkName>業務名</WorkName>
    <Scope>スコープ</Scope>
    <Policy>ポリシー</Policy>
  </SheetInfo>
  <Partitions>
    <ActorLanes>
      <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
      <Actor name="医師" index="2" x="392.5" width="244.25" />
      <Actor name="薬剤師" index="3" x="636.75" width="0" />
    </ActorLanes>
    <TimeLanes>
      <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
      <Time name="診察" index="2" y="333.25" height="192.5" />
      <Time name="薬受け渡し" index="3" y="525.75" height="0" />
    </TimeLanes>
  </Partitions>
  <Shapes>
    <Shape id="14" type="StartPoint" color="Black">
      <Partition>
        <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
        <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
      </Partition>
      <Rectangle>
        <Left>192</Left>
        <Top>83.25</Top>
        <Width>20</Width>
        <Height>20</Height>
      </Rectangle>
    </Shape>
  </Shapes>
</Workflow>
```

```
<Text></Text>
</Shape>
<Shape id="15" type="Activity" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>289.5</Left>
    <Top>214.25</Top>
    <Width>80</Width>
    <Height>40</Height>
  </Rectangle>
  <Text>診察券発行</Text>
</Shape>
<Shape id="16" type="TurningPoint" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>144.7499</Left>
    <Top>137.25</Top>
    <Width>120.0001</Width>
    <Height>55.5</Height>
  </Rectangle>
  <Text>初来院办</Text>
</Shape>
<Shape id="17" type="Arrow" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow="false" X="202" Y="103.25" ConnectShapeID="14" />
    <End IsArrow="true" X="201.75" Y="137.25" ConnectShapeID="16" />
  </Connector>
  <Text></Text>
```

```
</Shape>
<Shape id="18" type="PolylineArrow" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow="false" X="264.75" Y="165" ConnectShapeID="16" />
    <End IsArrow="true" X="329.5" Y="214.25" ConnectShapeID="15" />
  </Connector>
  <Text></Text>
</Shape>
<Shape id="19" type="Activity" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>167</Left>
    <Top>269.75</Top>
    <Width>74</Width>
    <Height>40</Height>
  </Rectangle>
  <Text>患者<br />呼び出し</Text>
</Shape>
<Shape id="20" type="Arrow" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="来院" index="1" y="80" height="253.25" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow="false" X="201.75" Y="192.75" ConnectShapeID="16" />
    <End IsArrow="true" X="201" Y="269.75" ConnectShapeID="19" />
  </Connector>
  <Text></Text>
</Shape>
<Shape id="21" type="PolylineArrow" color="Black">
  <Partition>
```

```
<Actor name=" 受付" index=" 1" x=" 50" width=" 342.5" />
<Time name=" 来院" index=" 1" y=" 80" height=" 253.25" />
</Partition>
<Connector>
  <Start IsArrow=" false" X=" 329.5" Y=" 254.25" ConnectShapeID=" 15" />
  <End IsArrow=" true" X=" 241" Y=" 289.75" ConnectShapeID=" 19" />
</Connector>
<Text></Text>
</Shape>
<Shape id=" 22" type=" Activity" color=" Black" >
  <Partition>
    <Actor name=" 医師" index=" 2" x=" 392.5" width=" 244.25" />
    <Time name=" 診察" index=" 2" y=" 333.25" height=" 192.5" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>463</Left>
    <Top>349.25</Top>
    <Width>80</Width>
    <Height>40</Height>
  </Rectangle>
  <Text>診察</Text>
</Shape>
<Shape id=" 23" type=" PolylineArrow" color=" Black" >
  <Partition>
    <Actor name=" 受付" index=" 1" x=" 50" width=" 342.5" />
    <Time name=" 診察" index=" 2" y=" 333.25" height=" 192.5" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow=" false" X=" 201" Y=" 309.75" ConnectShapeID=" 19" />
    <End IsArrow=" true" X=" 463" Y=" 369.25" ConnectShapeID=" 22" />
  </Connector>
  <Text></Text>
</Shape>
<Shape id=" 24" type=" Object" color=" Black" >
  <Partition>
    <Actor name=" 医師" index=" 2" x=" 392.5" width=" 244.25" />
    <Time name=" 診察" index=" 2" y=" 333.25" height=" 192.5" />
  </Partition>
```



```
<Rectangle>
  <Left>552.5</Left>
  <Top>402.5</Top>
  <Width>80</Width>
  <Height>40</Height>
</Rectangle>
<Text>カルテ作成</Text>
</Shape>
<Shape id="25" type="Polyline" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="医師" index="2" x="392.5" width="244.25" />
    <Time name="診察" index="2" y="333.25" height="192.5" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow="false" X="543" Y="369.25" ConnectShapeID="22" />
    <End IsArrow="false" X="592.5" Y="402.5" ConnectShapeID="24" />
  </Connector>
  <Text></Text>
</Shape>
<Shape id="26" type="Activity" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="薬剤師" index="3" x="636.75" width="0" />
    <Time name="診察" index="2" y="333.25" height="192.5" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>751.5</Left>
    <Top>402.75</Top>
    <Width>80</Width>
    <Height>40</Height>
  </Rectangle>
  <Text>薬調合</Text>
</Shape>
<Shape id="27" type="Line" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="薬剤師" index="3" x="636.75" width="0" />
    <Time name="診察" index="2" y="333.25" height="192.5" />
  </Partition>
  <Connector>
```

```
<Start IsArrow="false" X="751.5" Y="422.75" ConnectShapeID="26" />
<End IsArrow="false" X="632.5" Y="422.5" ConnectShapeID="24" />
</Connector>
<Text></Text>
</Shape>
<Shape id="28" type="Object" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="薬剤師" index="3" x="636.75" width="0" />
    <Time name="薬受け渡し" index="3" y="525.75" height="0" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>658.5</Left>
    <Top>545.25</Top>
    <Width>80</Width>
    <Height>40</Height>
  </Rectangle>
  <Text>薬</Text>
</Shape>
<Shape id="29" type="Polyline" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="薬剤師" index="3" x="636.75" width="0" />
    <Time name="診察" index="2" y="333.25" height="192.5" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow="false" X="791.5" Y="442.75" ConnectShapeID="26" />
    <End IsArrow="false" X="738.5" Y="565.25" ConnectShapeID="28" />
  </Connector>
  <Text></Text>
</Shape>
<Shape id="30" type="Activity" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="受付" index="1" x="50" width="342.5" />
    <Time name="薬受け渡し" index="3" y="525.75" height="0" />
  </Partition>
  <Rectangle>
    <Left>169.75</Left>
    <Top>545</Top>
    <Width>74</Width>
```

```
<Height>40</Height>
</Rectangle>
<Text>薬受け渡し<br />清算</Text>
</Shape>
<Shape id="31" type="Line" color="Black">
  <Partition>
    <Actor name="医師" index="2" x="392.5" width="244.25" />
    <Time name="薬受け渡し" index="3" y="525.75" height="0" />
  </Partition>
  <Connector>
    <Start IsArrow="false" X="658.5" Y="565.25" ConnectShapeID="28" />
    <End IsArrow="false" X="243.75" Y="565" ConnectShapeID="30" />
  </Connector>
  <Text></Text>
</Shape>
</Shapes>
</Workflow>
```

各要素と属性の意味は以下の通りです。(太字は要素名となっております)

名前	機能
<b>Workflow</b> 要素	ルート要素です。
ModuleVer 属性	XML を書き出したモジュールのバージョンです。 モジュールのバージョンが上がって XML のスキーマが変わった際に旧バージョンから新バージョンに変換する際に使用する予定です。
ExcelVer 属性	Excel のバージョンです。現状は Excel のバージョンが異なっても XML のスキーマは変わりません。
<b>SheetInfo</b> 要素	シート情報を格納します。
name 属性	シート名を格納します。
<b>WorkName</b> 要素	業務名を格納します。
<b>Scope</b> 要素	スコープを格納します。
<b>Pilicy</b> 要素	ポリシーを格納します。
<b>Partitions</b> 要素	アクタと時系列レーン情報を格納します。
<b>ActorLanes</b> 要素	シート上のアクタ情報を格納します。
<b>Actror</b> 要素	1つのアクタ情報を格納します。
name 属性	アクタレーンの名称です。
index 属性	アクタレーンの左からのインデックスです。
x 属性	アクタレーンの左端の座標です。
width 属性	アクタレーンの幅です。
<b>TimeLanes</b> 要素	シート上の時系列情報を格納します。
<b>Time</b> 要素	1つの時系列情報を格納します。
name 属性	時系列レーンの名称です。
index 属性	時系列レーンの上からのインデックスです。
y 属性	時系列レーンの上端の座標です。
height 属性	時系列レーンの高さです。
<b>Shapes</b> 要素	シート上の図形情報を格納します。
<b>Shape</b> 要素	1つの図形情報を格納します。
id 属性	図形のユニークな ID です。
type 属性	図形の種別です。
color 属性	図形の色です。
<b>Partition</b> 要素	図形が所属するパーティション情報です。 アクタと時系列情報が格納されます。
<b>Rectangle</b> 要素	図形の座標を格納します。
<b>Left</b> 要素	図形の左端の座標です。



Top 要素	図形の上端の座標です。
Right 要素	図形の右端の座標です。
Bottom 要素	図形の下端の座標です。
Text 要素	図形の中のテキストです。
Connector 要素	コネクタを表します。
Start 要素	コネクタの始点を表します。
End 要素	コネクタの終点を表します。
IsArrow 属性	始点、および終点が矢印アンカーになっているか表します。 この属性からコネクタの方向を識別します。
X 属性	始点、および終点の x 座標です。
Y 属性	始点、および終点の y 座標です。
ConnectShapeID 属性	始点、および終점에接続されている図形の ID です。

## CustomXML について

Excel2007 版のみ、上記 XML をブックファイルの中に格納しております。

これは Excel2007 から採用された OpenXML という仕様により、任意の XML ファイルをブックファイルに追加できる事を利用した物です。

Excel2003 版ではこの機能が使用できませんので XML ファイルを書き出せるようにしております。

(Excel2007 版でも XML 書き出しは可能です。)

今後、この XML を利用して内容の比較・分析等を行う際、Excel2007 版はブックファイルのみでこれらを行う事が可能ですが、Excel2003 版ではブックファイルと別途この XML ファイルが必要となります。

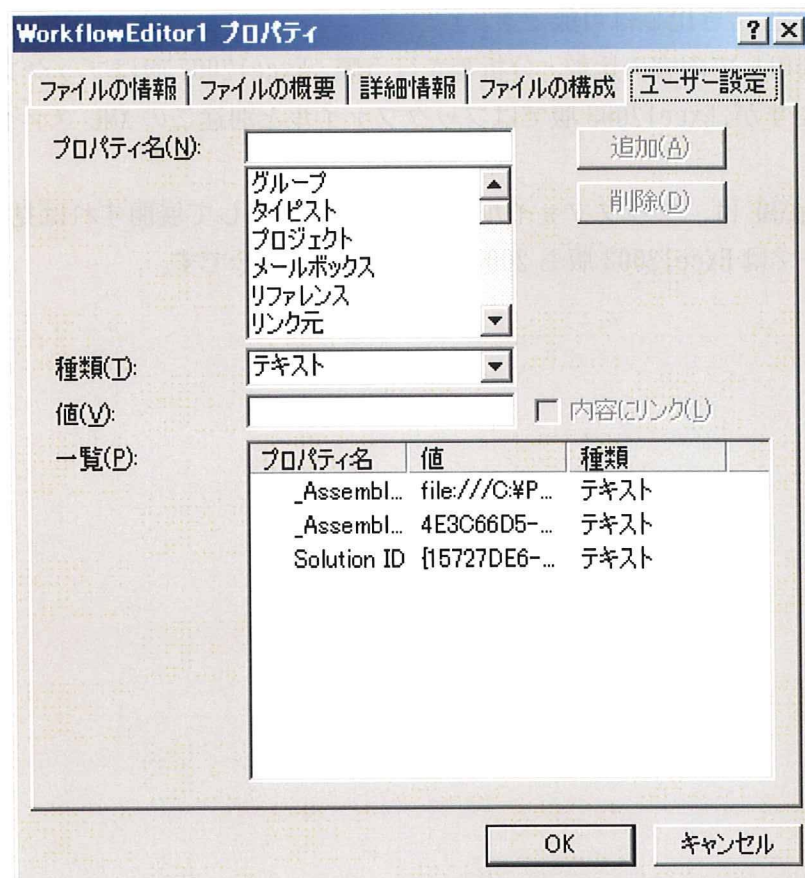
Excel2007 の CustomXML は、ブックファイルの拡張しを zip にして展開すれば見る事ができます。

なお、XML のスキーマは Excel2003 版も 2007 版も現状では同じです。

## 使用上の注意

### ドキュメントプロパティについて

ドキュメントのプロパティに \_AssemblyName、\_AssemblyLocation、Solution ID という 3 つのプロパティが設定されておりますが、こちらは本ツールを動作させるのに必要ですので削除したり変更したりしないで下さい。



## 図形の代替テキストについて

各パーティションやパネルからドラッグした図形には図形種別、座標といった情報を代替テキストに保持しております。

これは XML 化やレーンをまたぐ移動を行ったかの判定で使用されますが、この内容は変更しないで下さい。(変更した場合、ワークフロー用の図形とみなされなくなります。)

